

三沢市協働のまちづくり市民会議第3回会議概要

日 時：平成21年9月25日（金）
14時～16時

場 所：本館4階 大会議室

欠席者：織笠委員、太田委員、渡辺委員
久保委員、昆委員、古田委員

1. 開 会

2. 委員会ごとの協議（ワークショップ）

前半は、前回（第2回）会議のワークショップにおいて出された三沢市の課題について、継続して検討した。

後半は、アドバイザーの前山教授から提起されたテーマについて、各委員会で検討し発表した。

テーマ 指針策定委員会：地区住民による地区計画を立てる場合の問題点と利点
市民活動推進委員会：市民活動・NPO活動での課題・問題点

4. そ の 他 次回会議を10月20日（火）午後2時からということで決定した。

5. 閉 会

第3回会議 ワークショップで出された課題等

指針策定委員会 「地区住民による地区計画」

今までは課題をどのようにしてきたか

- ・知っている市議会議員にお願いする。
- ・町内会長会議の際の要望として挙げる。
- ・あきらめる

地区計画を立てることによる利点

- ・情報が集まる
- ・ビジョンの共有が図られる
- ・行政や市議に頼らず、方向性を見つけられる
- ・地区の一員という意識が高まる
- ・地区のビジョンが持てる
- ・連合地区との連携がとりやすくなる

地区の活動を活発にするためには

- ・地区の行政職員がリーダーとなって
- ・若い世代の参加を促す
- ・各町内会の課題・問題を連合町内会で優先順位をつけて市に要望
- ・よい取組みをしている等の町内のことを他の町内にも知らせる等の情報共有
- ・町内会以外の団体との連携
- ・町内会の意識改革
- ・住民の協働のまちづくり意識への改革

市民活動推進委員会「市民活動やNPOの課題・問題点」

制度について

- ・行政側の理解が必要（全庁的に）
- ・事務局の機能があるか
- ・市の財産（重機等）を無償で貸して欲しい
- ・資金について

意識について

- ・ボランティアに対する意識の希薄
- ・会員数の不足

現状

- ・仕事・家庭・活動のバランス
- ・横の連携が足りない（自分の活動でいっぱい）

啓発

- ・市民の理解が低い
- ・NPOが一同に会して情報交換する場が欲しい
- ・市民のニーズを的確に知りたい